

教科	科目名	単位数	学年	学科またはコース	履修
農業	野菜	2	2	生物生産科	選択

科目のねらい	野菜の生産と経営に必要な知識と技術を習得し、野菜の特性や生産に適した環境を理解する。また、品質と生産性の向上について理解し、経営の改善を図る能力と態度を学ぶ。
使用教材など	野菜（実教出版）

期	月	時数	学習内容	学習のポイント
一学期	4	4	☆野菜とは ☆野菜の生産と消費 ◎ 野菜の分類	○温室・ほ場の野菜栽培の学習に意欲的に取り組むことができる。
	5	8	◎ 露地栽培・施設栽培の特徴と管理 ◎ 土壌管理と施肥	○野菜生産と育苗について理解する。
	6	6	◎ 夏野菜の栽培	○野菜生産と育苗が、野菜の品質を左右することを説明できる。
	7	7	◎ 収穫物の調製と販売 ☆野菜の育苗技術と応用	
二学期	8	4	☆野菜の生育と生理 ☆野菜の栽培環境と生育調節	○温室・ほ場の野菜栽培の学習に意欲的に取り組むことができる。
	9	6	◎ 土壌管理と施肥 ◎ 養液栽培のしくみ	○基本的な栽培の知識を理解し、その技術を習得できる。
	10	6	☆人工環境における栽培技術	
	11	10	◎ 果菜類の収穫 ◎ 秋野菜の栽培	○収穫・調製の仕方、販売方法などを作物ごとに説明することができる。
	12	5	◎ 収穫物の調製と販売	
三学期	1	8	☆野菜の流通と経営改善 ◎ 施設管理	○基本的な知識・技術を理解できる。
	2	6	◎ 果菜類のたねまき	○温室・ほ場の野菜栽培の学習に意欲的に取り組むことができる。
	3	0		

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	生産技術と経営について関心を持ち、経営を発展させるために品質の向上へ取り組むことができる。	生産と経営に関する課題について意見を述べ、改善策を指導者と共に話し合うことで深めている。	生産性と品質の向上を図るために、栽培技術の習得に努めている。	野菜の経営について、体系的に理解する。
評価方法	行動の観察 記述の点検（記録簿）	行動の記録 （改善点を見出す意見を評価）	口頭試問による確認 （実技試験）	記述の確認（ノート定期考査）

評価項目・学習にあたって・評価点		
①定期テスト	野菜の生理特性及び管理法等の学習内容を理解し、正しく解答することができる。	50点
②ノートプリント	授業内容を黒板の板書を元に丁寧に記入することができる。ファイルにプリント及び記録用紙を順番通りにまとめることができる。	20点
③実習状況	教員の指示を正しく理解し、クラスメイトと協力しながら実習に取り組むことができる。実習内容を理解し、主体的かつ積極的に実習することができる。	30点